

第3章. ソフトウェア

3-1. インストール

本製品添付のソフトウェアは3.5インチ(1.44MB)フロッピーディスクに圧縮された形で格納されており、同メディア内のインストーラ“INSTALL.EXE”の実行により展開されます。なお、内容については充実・改良の目的で後日、追加・変更も有り得ます。重要な変更については同メディア内のドキュメントファイルに記すこととします。

操作手順 / FDDの場合

(はスペース)

インストール元：Aドライブ、
インストール先：Cドライブ(HDD)

の場合で例示。

```
> C: 【ENTER】
> A: INSTALL A: C: 【ENTER】
```

操作手順 / CDROMの場合

(はスペース)

インストール元：Dドライブ(CDROM)
インストール先：Cドライブ(HDD)

の場合で例示。

```
> D: 【ENTER】
> CD ¥INSTALL ¥ISA ¥PMC ¥PMC354 【ENTER】
> INSTALL C: 【ENTER】
```

各プログラムグループ(C, BASIC等)ごとにインストール実行の有無を問うてきますから、【Y】=yes, 【N】=no, で答えるだけで作業が進みます。

《注》 MS-DOSの環境変数“COMSPEC”が設定されていないか、または正常に設定されていないと本インストール・プログラムの作業が途中で停止してしまいます。実行前に確認、または設定しておいてください。

= 設定例 = COMMAND.COMがCドライブの¥にある場合、

```
> SET COMSPEC=C: ¥COMMAND.COM 【ENTER】
```

全ファイルをインストールした場合のディレクトリ構造は図3-1のようになります。

図3 - 1 . インストール後のディレクトリ

本図は原形です。 充実・改良の目的で後日、追加・変更も
有り得ます。

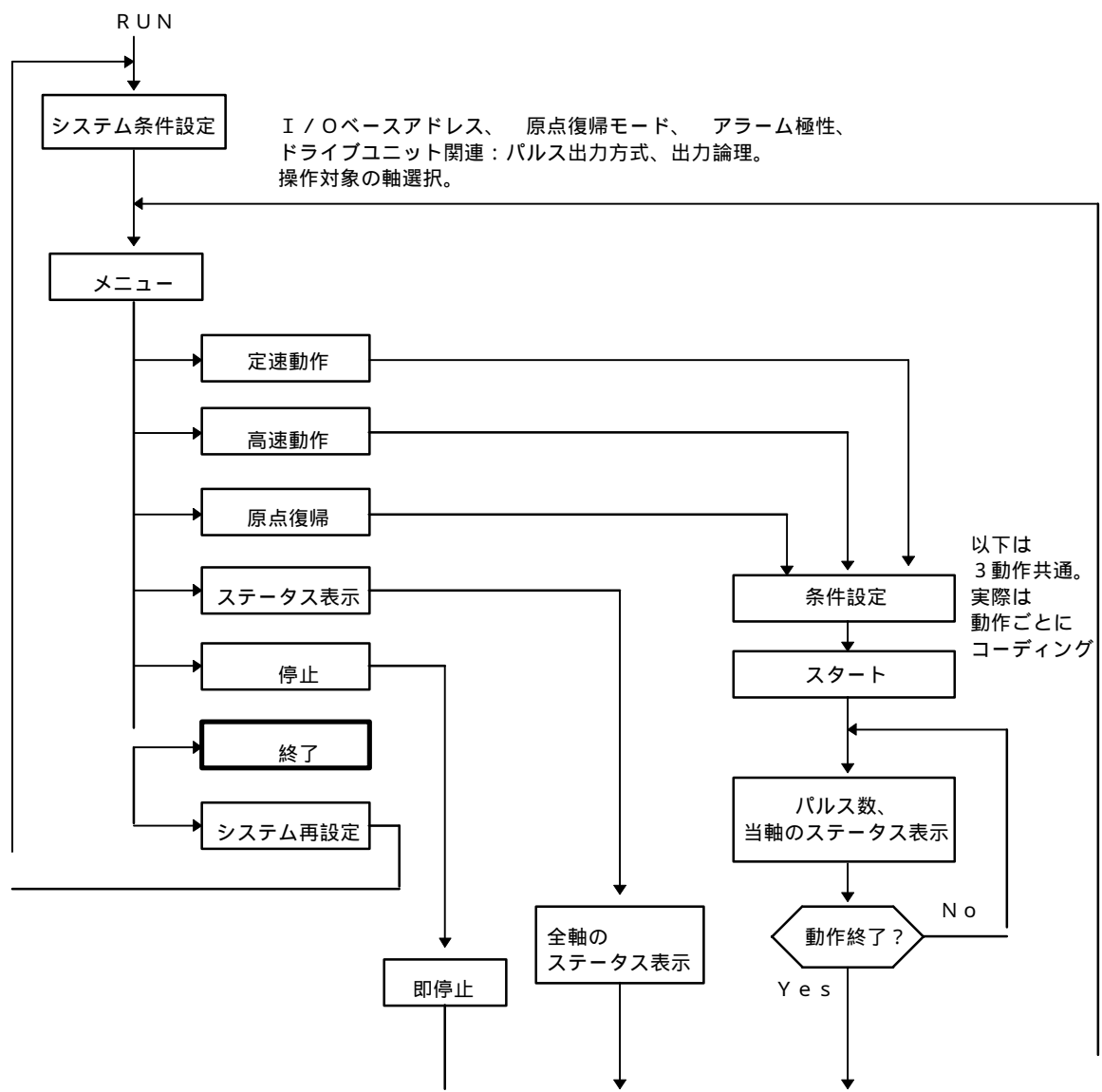
¥	凡例	: サンプルプログラム番号等 (1 ~)
	T - C	: TURBO - C
	B - C	: BORLAND - C++
	MS - C	: MICROSOFT - C (Visual - C++ 含む)
MSCIENCE		
- - BOARDTST - - - -	354QB1.EXE	: 本ボードの試運転・動作確認用プログラム
	354QB1.COM	: 英語モードに切り替えた後、EXEを実行する
- - HND354C - - - -	INCLUDE - - - H354.H	: ハンドラ共通ヘッダファイル
(ハンドラ)		
	- - - LIB - - - - -	354TS.LIB: T - C, B - C用スモールモデル
		354TL.LIB: T - C, B - C用ラージモデル
		354MS.LIB: MS - C用スモールモデル
		354ML.LIB: MS - C用ラージモデル
	- - SMP354CH - - -	SAMPLE .C: ハンドラ使用例
- - SMP354C - - - -	MICROSOFT.H	: MS - C用ヘッダファイル
(各種Cサンプル)	- - BORLAND.H	: T - C, B - C用ヘッダファイル
	- - INT354.C	: 割り込み使用例
	- - POL354.C	: ポーリング例
- - SMP354B - - - -	354QB1.BAS	: Quick - Basic (4.5) 用サンプル
(BASICサンプル)		
- - WINDOWS - - - -	LIB16 - - - -	PORT__ACC.DOC: DLL機能説明
(3.1)	(16ビット)	PORT__ACC.DLL: DLL本体
		PORT__ACC.LIB: インポートライブラリ
		PORT__ACC.H: DLL用ヘッダ
	- VB__SAMP - - - -	VB__ACC.DOC: サンプル機能説明
	(2.0)	VB__ACC1.EXE: サンプル実行
		VB__ACC1.MAK: プロジェクト
		VB__ACC1.FRM: フォーム
		VB__ACC1.BAS: モジュール
- - WIN95 - - - - -	LIB32 - - - -	PORT__95.DOC: DLL機能説明
	(32ビット)	PORT__95.DLL: DLL本体
		PORT__95.LIB: インポートライブラリ
		PORT__95.H: DLL用ヘッダ
	- - LIB16 - - - -	《上記WINDOWSディレクトリのもと同じ》
	(16ビット)	
	- - - VB4 - - - - -	VB4__95.DOC: サンプル機能説明
	(4.0)	VB4__95.VBP: プロジェクト
		VB4__95.FRM: フォーム
		VB4__95.BAS: モジュール

3-2. Quick - Basicのサンプル

Quick - Basic (4.5)用のサンプルプログラム“354QB1.BAS”は基本的なBASIC文のみによる使用例です。なお本プログラムの実行形式“354QB1.EXE”は試運転・動作確認用にもなります。コーディングの詳細は同ソースのリストを御覧ください。

ディレクトリ：¥ - - M S C I E N C E - - S M P 3 5 4 B - - 3 5 4 Q B 1 . B A S

図3 - 2 . “ 3 5 4 Q B 1 . B A S ” のフロ - 概要



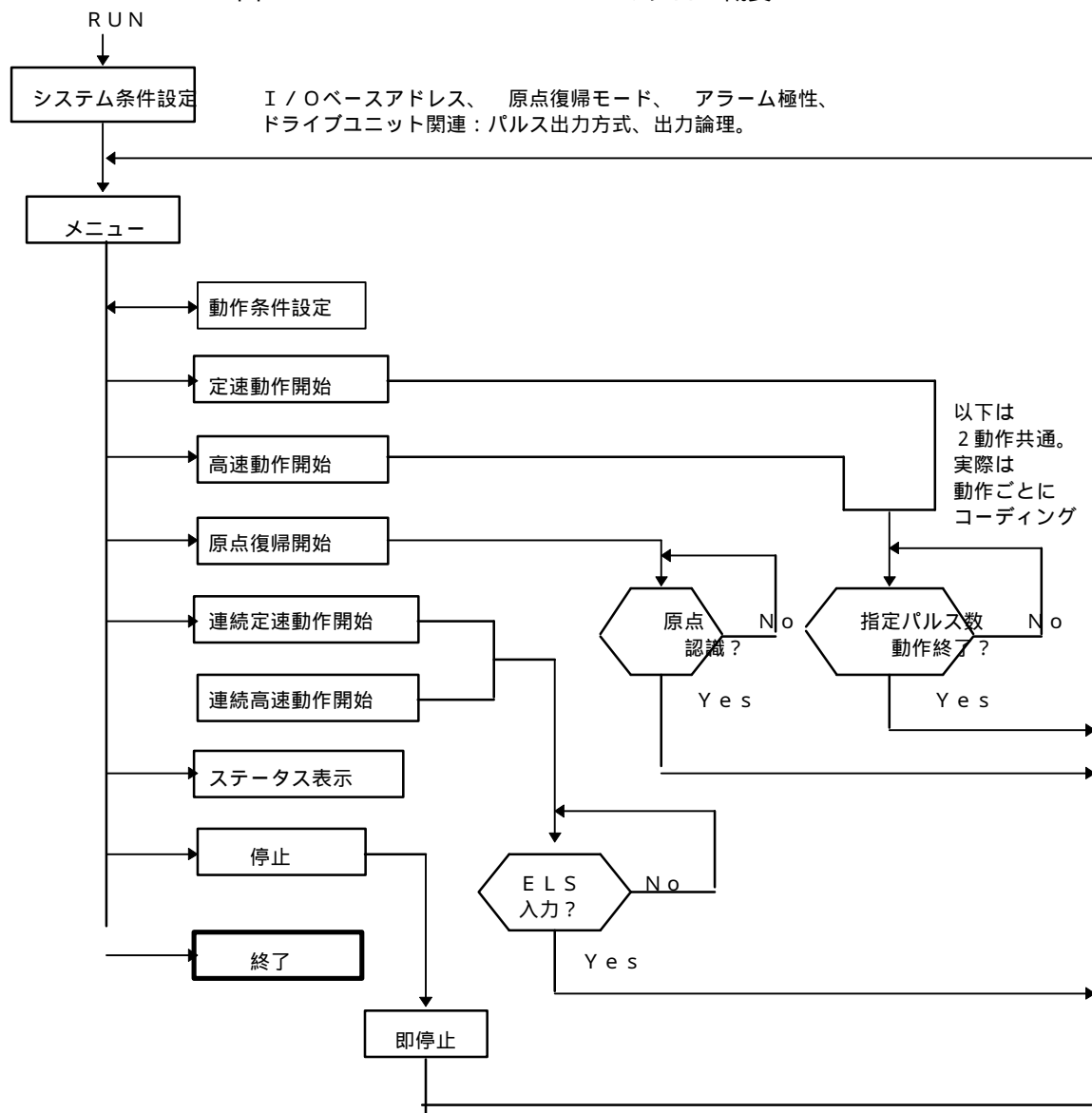
【ESC】キイで動作中止、メニューに戻る

3-3. Cのサンプル

Cのサンプルプログラムは前3 - 2項・Quick - Basic記述のものと同機能です。
 “POL354.C”は各動作の終了をメインルーチン中のステータス監視ループで検出、
 “INT354.C”は各動作の終了を割り込み処理ルーチン中のステータス監視ループで検出
 する方法を採っています。コーディングの詳細は各ソースのリストを御覧ください。

ディレクトリ：¥ - - M S C I E N C E - - S M P 3 5 4 C - - - P O L 3 5 4 . C
 | - I N T 3 5 4 . C

図3 - 3 . “POL354.C”のフロ - 概要



《 操作 》 動作条件設定、各動作のスタート、連続動作の中止（強制停止）等、
 全ての操作はメニューから実行します。

印の各動作は【任意のKEY】入力によりループを抜けてメニューに
 戻ります。